

第〇学年〇組 家庭科学習指導案

令和7年〇月〇日 木曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 題 材 私たちの消費生活

2 題材の目標

- (1) 消費者として契約の意味や支払い方法のメリット・デメリットなどの必要な知識について理解することができる。
- (2) 自立した消費者として自らの消費行動の課題を見だし、解決策を構想する力を身に付けることができる。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、主体的に課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を創造し、実践しようとする。

3 学習の計画 (3時間完了)

- 第1時 消費者という自覚をもち、「契約」「購入方法」「支払い方法」について理解する。
- 第2時 消費者トラブルとその対策について理解する。
- 第3時(本時) 消費者の権利と責任について理解し、商品を購入するときの意思決定のプロセスについて考えを深める。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 商品を購入するときに考えるべきことについて、話し合いを通して理解することができる。
 - 商品を購入する際にさまざまな観点から検討し、最善の商品を決定することができる。
- (2) 準備・資料
 - 生徒…タブレット端末
 - 教師…タブレット端末、電子黒板
- (3) 関 連

2年 家庭科 食品の選択と購入
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つ か む	1 普段着の購入時に考えることについて発表する。 ・値段 ・支払い方法 ・着心地 ・サイズ ・ブランド・購入場所	5	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの生徒が経験したことがある服の購入のプロセスについて思い出させる。 ○生徒から出てきた意見を【目的】【商品の情報】【購入】【着用後】の観点別で板書していく。 ○服購入時の失敗談を聞く。
	2 学習課題を知る。 よりよい消費生活を送るために賢い消費者になろう！	6	
考 え る	3 消費者の権利と責任について知る。 (1) 8つの権利と5つの責任を知る。 (2) エシカル消費について知る。 ○エシカル(倫理)＝「人として守るべき道」	20	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 p. 209 を参照させながら消費者の権利と責任について理解させる。 ○生徒にとって新しい視点となるエシカル消費については、タブレット端末で確認できるように資料を提示する。
	4 普段着を購入するときに考えることについて、再度話し合う。		

考 え る ま と め る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費者の権利・責任、エシカル消費の観点から考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル、リユースできるか。 ・ 補償はあるか。適正な価格か。 ・ どの国でどのように作られているのか。 ・ 不良品であれば訴える。 ・ 本当に必要なのか。 	28	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニーズとウォンツについて触れる。 ○ フェアトレードの意味と、推奨されている主な商品について押さえる。 <p>評消費者の権利・責任、エシカル消費の観点から購入時に気をつけた方がよいことを意見発表している。 (話し合い)</p>
	5 商品選択の際に役立つマークについて知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Gマーク ・ フェアトレードのマーク ・ 分別収集のためのマーク ・ グリーンマーク 	35	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板にマークを映しながら説明する。 ○ どんな意味なのか想像させる発問をする。 ○ 技術分野で取り上げるマークは省略する。
	6 消費生活の分野で学んだことを振り返る。 <p>(1) 賢い消費者として必要なことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の選択時 ・ 支払い時 <p>(2) タブレット端末を活用して学級の生徒の意見を知る。</p> <p>(3) 授業者より単元を通しての振り返りの話をする。</p>	45 50	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今まで消費生活の分野で学んできたことを授業用ノートに書くように伝える。 ○ 【商品の選択時】【支払い時】と指定をし、考えやすくする。 <p>評消費者としてよりよい生活・社会の実現のためにどのような消費行動をすればよいか考えを授業用ノートに記述している。 (授業用ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 契約の意味や支払い方法、販売方法が多様化していく今後の消費生活の変化に敏感になっていくこと、またその知識を得る必要性を伝える。そして、一人の消費者としての行動の仕方を考えていく大切さについて伝える。

(5) 本時の評価規準

- エシカル消費等の購入時に気をつけるべきことを理解している。 (話し合い)
- 消費者としてよりよい生活・社会の実現のためにどのような消費行動をすればよいかの考えを授業ノートに記述している。 (授業用ノート)

5 備考

(1) 学級の実態

- 家庭科の授業に興味をもつ生徒も多いが、受け身の生徒も多い。挙手をして自分の意見を伝えるよりタブレット端末での発表の方がしやすい生徒が多い。

(2) 指導の力点

- 生徒の発言によって授業を進められるように、生徒の発言を否定せず、発言内容に関連付けて学習内容を伝えることで、対話を大切にする意識を高めて授業を行うようにした。

6 指導と評価